



| | | |
|--------|---|---|
| 所属・職位 | 福祉健康科学部 福祉健康科学科 理学療法コース・准教授 |  |
| 氏名 | 阿南 雅也 (Anan Masaya) | |
| 取得学位 | 博士 (保健学)、広島大学、2012年3月 | |
| SDGs目標 |  | |

研究分野 運動器理学療法学, バイオメカニクス

研究キーワード 動作解析, 変形性関節症, 力学的ストレス, 協調性, 変動性

研究内容

ヒトは地球上において、重力の影響下にて立ち上がり動作、歩行などの基本的動作をおこなっています。しかし、加齢や外傷などにより、関節への力学的ストレスがより増大することで変形性膝関節症などの変性疾患が生じ、活動制限に至ります。運動器疾患を対象としている理学療法士において、病態発症および進行の原因を明らかにし、さらに個々の患者に応じた理学療法を提供するための客観的評価方法を開発することは非常に重要であります。

当研究室は三次元動作解析システムや筋電計、モーションセンサーなどを用いて、高齢者や運動器疾患患者の動作の特徴を明らかにします。そして、理学療法学の発展に貢献できることを目指しています。

- 運動器疾患の病態発症および進行の原因の解明に繋がる研究
日本学術振興会・科学研究費・基盤研究 (C)：関節に作用する圧縮力や骨内に生じる応力からみた変形性膝関節症の進行要因の解明, 2020~2023年度
- 運動器疾患に対する運動機能評価に基づくサブグループ化を確立する研究
学長戦略経費 若手研究支援：前十字靭帯損傷予防のための評価方法の検討, 2020年度
- 新しい客観的評価方法を利用した理学療法の効果検証における症例研究
学長戦略経費 若手研究支援：クラシック・バレエにおける身体全体の協調運動と身体機能との関連, 2019年度

Researchmap : <https://researchmap.jp/read0150790>

研究業績・アピールポイント

- 論文
 1. Ibara T, Takahashi M, Shinkoda K, Kawashima M, Anan M: Hip sway in patients with hip osteoarthritis during one-leg standing with a focus on time-series data. Motor Control 25(3):1-17, 2021
 2. Tokuda K, Anan M, Sawada T, Tanimoto K, Takeda T, Ogata Y, Takahashi M, Kito N, Shinkoda K: Biomechanical mechanism of lateral trunk lean gait for knee osteoarthritis patients. J Biomech 66: 10-17, 2018
- 著書
 1. 阿南雅也:変形性膝関節症. Crosslink理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学 (加藤浩 編). pp240-275, メジカルビュー社, 2020
 2. 阿南雅也:隣接関節との関連を考慮した評価. 人工股関節全置換術の理学療法 (対馬栄輝 編). p86-95, 文光堂, 2020
- 受賞
 1. World Physiotherapy subgroup outstanding poster presentation award: International Association of Physical Therapists working with Older People(IPTOP): World Physiotherapy Congress 2021

- 役員
- 大学院教育学研究科
教育学部
- 経済学部
- 医学部
- 医学部附属病院
- 理工学部
- 福祉健康科学部
- その他学内施設等